

- ・ 6 月 28 日 ドリーム・プロジェクト採用決定
- ・ 7 月 2 日 磐田市教育委員会後援名義の使用許可を得る
- ・ 7 月 中旬 会場、講師、参加中学校の内定
- ・ 7 月 29 日 「ドリーム・プロジェクト」パンフレットへ磐田市のイメージキャラクターデザインの使用許可を得る
- ・ 10 月 4 日 各参加中学校長へ生徒派遣依頼文書を郵送
- ・ 10 月中旬 磐田市バスケットボール協会総会で後援名義使用の許可が報告される
- ・ 10 月 23 日 責任生徒 4 名がパンフレットを持参し、各参加中学校、磐田市教育委員会に挨拶のため訪問
- ・ 10 月 25 日 講師依頼文書の郵送

<10月23日 各所に挨拶に伺った際の様子>



↑ 磐田第一中学校



↑ 磐田南部中学校



↑ 旭が丘中学校



↑ 磐田市教育委員会放課後活動課



↑ 磐田市教育委員会総務課

<イベント当日>

- 8:30 集合
- 9:00 開会式
- 9:30~12:00 バスケットボール教室 第一部
- 13:00~15:30 バスケットボール教室 第二部
- 15:30 閉会式

<約 70 人が参加してくれました>



↑ 講師紹介



↑ 開会宣言



↑ 生徒代表挨拶（生活体験文発表）↑



5 感 想

- ・開会式で、外国籍の若者がどのように頑張っているかを多くの人に訴え、かつ、外国籍の中学生に勇気を与えられるようにするにはどうしたら良いかを考えた結果、責任者である自分の生活体験文を聞いてもらうことが適切だと判断した。翌日には JLPT（日本語能力検定）が控えている中、大変なこともあったが、このような機会に恵まれたことに感謝したい。
- ・開会式は磐田南高校定時制バスケットボール部が主導した。前日まで磐田南高校 3 年生が修学旅行で、夜遅くに帰宅したことから、3 年生の健康面が心配されたが、多くの 3 年生が参加してくれた。
- ・中学校にパンフレットを配布した頃（10 月 23 日）から、後輩にあたる中学生がこの話題で磐田南高校定時制バスケット部の部員に接してくれ、とても楽しみにしてくれていることを知り、とても嬉しかった。
- ・一つの行事を成し遂げるには、多くの人のお力添えがあり、多くの人が支えてくれることを改めて知ることができ、感謝の気持ちでいっぱいになった。
- ・外国籍の定時制生徒も頑張ればこんな大きなイベントができ、多文化共生を訴えることができたことが自信となった。
- ・地元中学のバスケットボール部が都合よく参加してくださる日程として提示された 11 月 30 日は、磐田南高校体育館では全日制の日程が予定されており、使用不可となった。会場を提供してくれた磐田第一中学校の先生方に心からお礼を言いたい。
- ・磐田市教育委員会、磐田市バスケットボール協会の後援名義使用、磐田市のイメージキャラクターデザイン使用について文書にてお願いしたところ快く許可していただき、ありがたかった。
- ・地元中学校をまとめてくれたのは、磐田市バスケットボール協会の中学校指導者代表である鈴木先生（旭が丘中学校）であるが、鈴木先生（旭が丘中学校）は昨年まで磐田南部中学校に勤務してバスケットボール部の顧問をされていた。その時代の生徒が磐田南高校定時制バスケットボール部の主力選手になっており、鈴木先生（旭が丘中学校）と接することができたこの企画は、彼らにとってとても良い思い出となった。
- ・後日、部で反省会を行ったが、部員全員が充実感を得たことがわかり、部の連帯意識が強まったと感じる。
- ・新聞に報道されて、家族や友人から話題になったのが嬉しかった。

<中学生と交流しながら長谷川先生の指導を受ける生徒の様子>



<閉会式 長谷川先生と記念撮影>

